

紫外線ダイオード開発

殺菌効果が高い紫外線を実用的な強度で出す紫外線発光ダイオードを、理化学研究所テラヘルツ量子素子研究チームの平山秀樹チームリーダーらが開発した。サファイアの基板上で窒化アルミニウムを多層で結晶成長させる独自手法で、ダイオード用の結晶を作った。ガスレーザーより小型で高効率、光源の寿命が長くなり、殺菌灯、ダイオキシシンなどを分解する浄化装置、蛍光灯に代わる長寿命光源、高密度の光記録用レーザーなどへの応用が期待される。